

# 全産業の構造

## (1) 全産業の構造の機能と目的

全産業の構造では、地域の産業構成の全体像（いわゆる「産業のポートフォリオ」）を把握することができます。地域（都道府県・市区町村単位）と表示年を指定して、企業数、従業者\*1数、売上高、付加価値額\*2などについての産業ごとの割合（シェア）を見ることができます。従業者数から、地域の雇用を支えている産業が分かります。また、付加価値額から、地域に所得を生み出している（又は分配している）産業が分かります。さらに、域外への販売額と域外からの仕入額を比べることで、どの産業が地域外から資金を稼いでいるかが分かります。これらの情報を組み合わせることで、どの産業を重点的に支援するべきかの検討が可能となります。

また、複数の自治体を合算した形での産業構成を把握することも可能となっており、複数の自治体で連携した場合に、重点的に支援するべき産業の検討も可能となります。



- ・ 総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工（2009、2014年）
- ・ 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工（2012、2016年）



- ・ 全産業の構造の画面の表示方法については、「基本的な使い方」を参照

\*1: 「従業者」とは、当該企業又は事業所に所属して働いている全ての人をいう。したがって、他の会社などの別経営の事業所へ派遣している人も含まれる。一方、当該事業所で働いている人であっても、他の会社などの別経営の事業所から派遣されているなど、当該事業所から賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されていない人は従業者に含めない。

なお、個人経営の事業所の家族従業者は、賃金・給与を支給されていなくても従業者とする。

\*2: 「付加価値額」とは、企業等の生産活動によって新たに生み出された価値のことで、生産額から原材料等の中間投入額を差し引くことによって算出でき、以下の計算式を用いている。

売上高－費用総額（売上原価＋販売費及び一般管理費）＋給与総額＋租税公課

なお、国民経済計算の付加価値額と異なり固定資本減耗分が含まれていない。



## (2) 全産業の構造の表示内容

産業分類ごとに枠が表示されます。

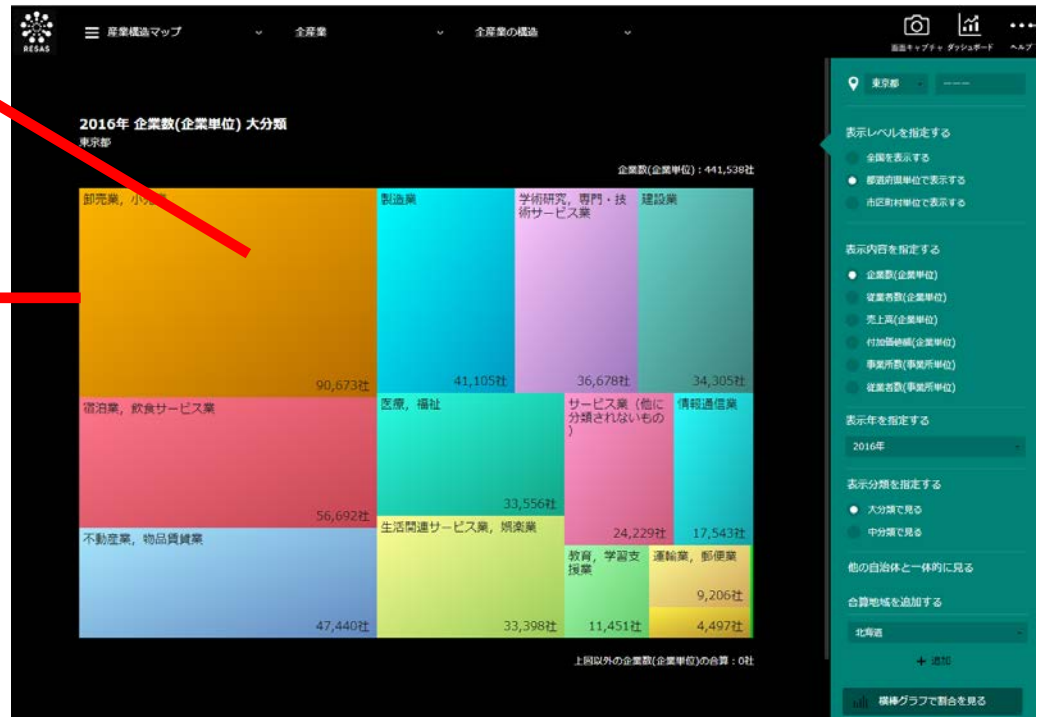
### ● 枠の大きさ

右メニューで設定した「企業数」や「売上高」などについての、全産業に対する各産業の割合（シェア）を表しています。シェアが最も大きい産業から順に、左上から並びます。全産業の構造では、上位の20業種までが表示され、21位以下については、合算した数値が「その他」として枠外の右下に記載されます。

### ● 枠の背景色

産業の大分類単位で色分けして表します。右メニューの「表示分類を指定する」を「中分類で見る」に指定した場合にも、大分類単位で色分けされます。

※初期表示項目：都道府県単位で表示する、企業数、2016年、産業大分類単位



出典



- 枠の背景色  
総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工（2009、2014年）  
総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工（2012、2016年）

注意

- 産業分類カラーは「日本標準産業分類」に準じて設定しています。

### (3) 右メニューの説明

右メニューでは、左の全産業の構造の表示内容について設定します。

**表示レベルを指定する**

- 全国を表示する
- 都道府県単位で表示する
- 市区町村単位で表示する

**表示内容を指定する**

- 企業数(企業単位)
- 従業者数(企業単位)
- 売上高(企業単位)
- 付加価値額(企業単位)
- 事業所数(事業所単位)
- 従業者数(事業所単位)

**表示年を指定する**

2016年


■  
■  
■  
■  
■

● **表示レベルを指定する**

- **全国を表示する**  
左のマップ上の全産業の構造を、全国で表示する場合に指定します。
- **都道府県単位で表示する**  
左のマップ上の全産業の構造を、都道府県単位で表示する場合に指定します。
- **市区町村単位で表示する**  
左のマップ上の全産業の構造を、市区町村単位で表示する場合に指定します。

● **表示内容を指定する**  
産業の割合（全産業の構造の枠の大きさ）を決めるための項目を指定します。

- 企業数（企業単位<sup>\*3</sup>）
- 従業者数（企業単位）
- 売上高（企業単位）
- 付加価値額（企業単位）
- 事業所数（事業所単位<sup>\*4</sup>）
- 従業者数（事業所単位）

 **参照** 企業単位での全産業の構造についての詳細は、(4) を参照  
事業所単位での全産業の構造についての詳細は、(5) を参照

● **表示年を指定する**  
表示する内容の対象年を指定します。「表示する内容を指定する」で指定した項目により、指定可能な表示年が異なります。

\*3：「企業単位」とは、企業単位（本社ベース）で集計されている統計をいう。

\*4：「事業所単位」とは、事業所単位で集計されている統計をいう。

## 表示分類を指定する

- 大分類で見る
- 中分類で見る

## ● 表示分類を指定する

- ・ 大分類で見る  
表示する産業の単位を大分類にしたい場合に指定します。
- ・ 中分類で見る  
表示する産業の単位を中分類にしたい場合に指定します。

## 他の自治体と一体的に見る

## 合算地域を追加する

北海道

+ 追加

## ● 合算地域を追加する

他の自治体と合算した内容を表示したい場合、合算する都道府県と市区町村を選択します。合算は、最大で 30 地域まで選択できます。選択した他の自治体は、「他の自治体と一体的に見る」に表示されます。



参照 他の自治体との合算についての詳細は、「基本的な使い方」を参照

## 横棒グラフで割合を見る

## ● 横棒グラフで割合を見る

クリックすると、産業構成が横棒グラフで表示されます。




参照 横棒グラフについての詳細は、(6)を参照

## (4) 「表示内容」の指定 ～企業単位で見る～

### <設定項目>

企業単位での全産業の構造を見る場合、右メニューで、以下の項目を設定します。

設定項目	選択肢	選択できる表示年	出典 
表示レベルを指定する	都道府県単位	—	—
	市区町村単位	—	—
表示する内容を指定する	企業数（企業単位）	2009、2012、2014、2016年	総務省「経済センサス基礎調査」再編加工（2009、2014年） 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工（2012、2016年） - 事業・活動を行う法人（外国の会社を除く）と個人経営の事業所の合計数 - 個人経営であって同一の経営者が複数の事業所を経営している場合は、それらはまとめて1つの企業とする。 - 平成24年経済センサス活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。 福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村
	従業者数（企業単位）	2009、2012、2014、2016年	総務省「経済センサス基礎調査」再編加工（2009、2014年） 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工（2012、2016年） - 会社と個人事業所の従業者総数。 - 従業者とは、調査日現在、当該事業所に所属して働いている全ての人をいう。したがって、他の会社などの別経営の事業所へ派遣している人も含まれる。 一方、当該事業所で働いている人であっても、他の会社などの別経営の事業所から派遣されているなど、当該事業所から賃金・給与（現物給与を含む）を支給されていない人は従業者に含めない。 なお、個人経営の事業所の家族従業者は、賃金・給与を支給されていなくても従業者とする。 - 平成24年経済センサス活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。 福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村
	売上高（企業単位）	2012、2016年	総務省・経済産業省「平成24年経済センサス活動調査」再編加工 - 商品などの販売額又は役務の提供によって実現した売上高、営業収益、完成工事高など。有価証券、土地・建物、機械・器具などの有形固定資産など、財産を売却して得た収入は含めない。なお、「金融業、保険業」の会社、会社以外の法人及び法人でない団体の場合は経常収益としている。 - 売上計上対象外企業については除外して集計。 - 平成24年経済センサス活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。 福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村

設定項目	選択肢	選択できる表示年	出典 
表示する内容を指定する	付加価値額(企業単位)	2012、2016年	総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサスー活動調査」再編加工 - 売上計上対象外企業については除外して集計。 - 付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課（費用総額＝売上原価＋販売費及び一般管理費） 費用総額：売上（収入）金額に対応する費用。なお、「金融業、保険業」の会社及び会社以外の法人は経常費用としている。 売上原価：売上高に対応する商品仕入原価、製造原価、完成工事原価、サービス事業の営業原価及び減価償却費（売上原価に含まれるもの）の総額。 - 平成 24 年経済センサスー活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の 7 自治体の調査は行っていない。 福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村
表示年を指定する	※右メニューの「表示する内容を指定する」での選択肢により、指定できる表示年が異なります。	—	—
表示分類を指定する	大分類で見る	—	—
	中分類で見る	—	—

### ＜全産業の構造に表示される情報の範囲＞

「表示年を指定する」で指定した年、「表示レベルを指定する」で指定した地域が表示対象となります。

### ＜全産業の構造の表示内容＞

「表示する内容を指定する」で指定した内容が表示されます。

## (5) 「表示内容」の指定 ～事業所単位で見ると～

### ＜設定項目＞

事業所単位での全産業の構造を見る場合、右メニューで、以下の項目を設定します。

設定項目	選択肢	選択できる表示年	出典 
表示レベル指定する	都道府県単位	—	—
	市区町村単位	—	—
表示する内容を指定する	事業所数(事業所単位)	2009、 2012、 2014、 2016年	総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工 (2009、2014年) 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工 (2012、2016年) - 経済活動が行われている場所の数で、原則として次の要件を備えているものをいう。 ① 一定の場所(1区画)を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われていること。 ② 従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること。 また、以下の要件の事業所も含まれる。 ③ 当該事業所に所属する従業者が1人もおらず、他の会社など、別経営の事業所から出向又は派遣されている人のみで経済活動が行われている事業所。 ④ 事業所として存在しているが、記入不備などで事業内容などが不明の事業所。 - 平成24年経済センサスー活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。 福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村
	従業者数(事業所単位)	2009、 2012、 2014、 2016年	総務省「経済センサスー基礎調査」再編加工 (2009、2014年) 総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工 (2012、2016年) - 事業所で働く人の人数。 - 本社で働く事業所の従業者も事業所で計上。 - 平成24年経済センサスー活動調査においては、東日本大震災の影響で、以下の7自治体の調査は行っていない。 福島県楢葉町、福島県富岡町、福島県大熊町、福島県双葉町、福島県浪江町、福島県葛尾村、福島県飯館村
表示年を指定する	※右メニューの「表示する内容を指定する」での選択肢により、指定できる表示年が異なります。	—	—
表示分類を指定する	大分類で見る	—	—
	中分類で見る	—	—



### <全産業の構造に表示される情報の範囲>

「表示年を指定する」で選択した年、「表示レベルを指定する」で選択した地域が表示対象です。

### <全産業の構造の表示内容>

「表示する内容を指定する」で指定した内容が表示されます。





## (6) 横棒グラフで割合を見る

画面上に表示している全産業の構造を横棒グラフで表示し、全国平均、都道府県平均と比較することができます。

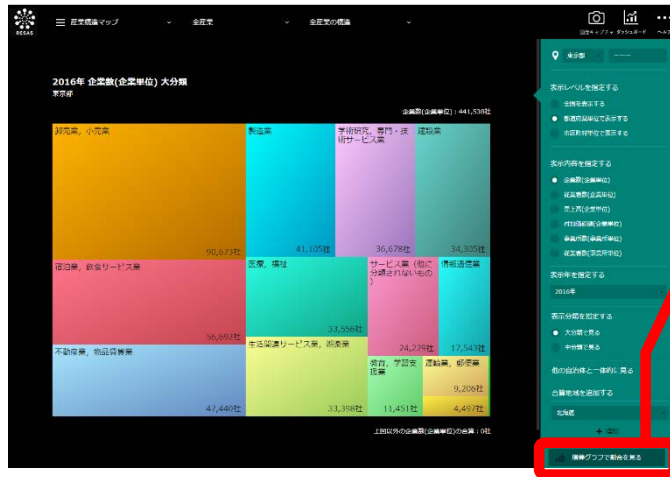
右メニューの「表示する内容を指定する」で選択した「企業数（企業単位）」、「従業者数（企業単位）」、「売上高（企業単位）」、「付加価値額（企業単位）」、「事業所数（事業所単位）」、「従業者数（事業所単位）」を、それぞれ横棒グラフで見ることができます。

画面上部には産業の大分類、画面下部には産業の中分類の産業構成が、それぞれ横棒グラフで表示されます。

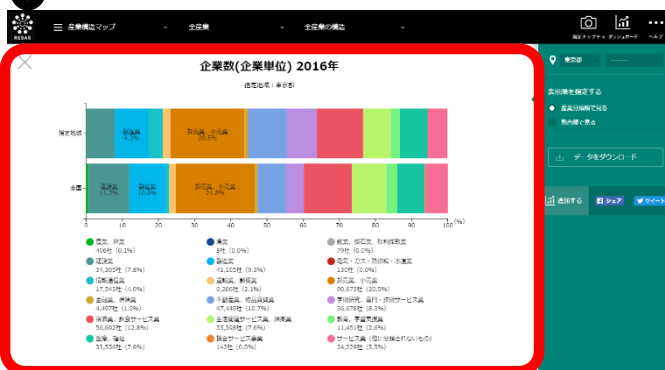
また、複数自治体を合算した形でグラフを表示することも可能です。

### ＜横棒グラフの表示方法＞

1 右メニューの「横棒グラフで割合を見る」をクリックします。



全産業の構造が横棒グラフに切り替わります。



## ＜横棒グラフの画面構成＞

画面上部に産業分類（大分類）、画面下部に産業分類（中分類）ごとの割合が表示されます。

※初期表示項目：全産業の構造で設定した内容、産業分類順で見る



### ● 産業分類（大分類）のグラフと表

#### ● 横棒グラフ

前画面で指定した地域と項目の各産業（大分類）の割合を表した横棒グラフが表示されます。横棒グラフは、「指定地域」で選択した自治体、自らの自治体を含む都道府県（表示レベルが「市区町村」の場合のみ）、全国平均の順番で表示されます。横棒グラフの産業分類を表す色分けした部分をクリックすると、画面下部の「産業分類(中分類)のグラフと表」の該当する箇所に表示が移動します。

#### ● 表

各産業分類（大分類）の割合が産業分類順に表で表示されます。産業中分類の欄をクリックすると、該当する産業中分類のグラフと表にジャンプします。

### ● 産業分類順で見る

横棒グラフの項目の並び順を左から産業分類順に並び替えます。

### ● 割合順で見る

指定地域の横棒グラフの項目の並び順を、左から割合の多い順番に並び替えます。都道府県も全国平均も、指定地域の並び順に合わせて並び替えられます。

- **注意** 横棒グラフ下にある「表」の項目の並び順は、産業分類順で固定となっています。割合の多い順に並び換えることはできません。

### ● データをダウンロード

クリックすると、企業数（企業単位）、従業者数（企業単位）、売上高（企業単位）、付加価値額（企業単位）、事業所数（事業所単位）、従業者数（事業者単位）の全件データ（CSV）が全国・都道府県別・市区町村別に、産業分類では全産業・産業大分類・産業中分類別にダウンロードされます。



- **トップへ**

クリックすると、画面の一番上へジャンプします。

- **産業分類（中分類）のグラフと表**

- **横棒グラフ**

各産業（中分類）の割合を表した横棒グラフが表示されます。  
横棒グラフは、「指定地域」で選択した自治体、自らの自治体を含む都道府県（表示レベルが「市区町村」の場合のみ）、全国平均の順番で表示されます。

- **表**

各産業分類（中分類）の割合が産業分類順に表で表示されます。